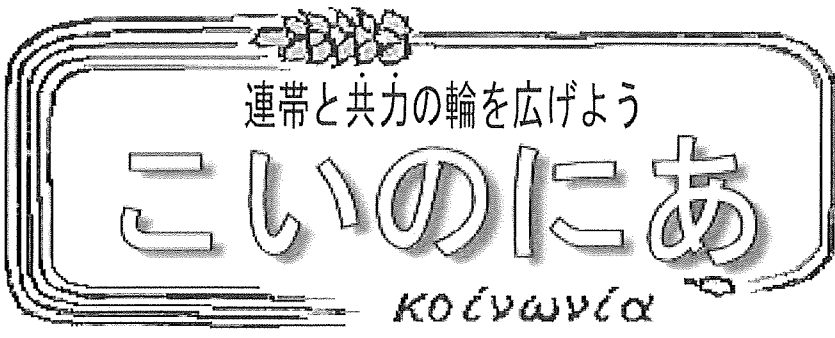




連帯と共力の輪を広げよう

こいのにあ

KOINOIWA

「こいのにあ」は、「交わり」という意味のギリシャ語です。

一麦福祉会とそれを支援して下さる方々との「交わり」が深められる場となることを願っています。福祉会への語りかけをお待ちしています。

第29号 2014年7月28日発行

一麦福祉会 〒347-0034 埼玉県加須市常泉 536-1

Tel : 0480 (65) 1759 <http://www.works-migiwa.com/>

障害者総合支援法施行と「みぎわ」のこれから(2)

1. 総合支援法施行2年目へ

総合支援法は昨年の施行に続き、残されていた①障害支援区分の創設②重度訪問介護サービスの対象者拡大③ケアホームとグループホームの一元化④地域移行支援の対象拡大が本年4月から施行されました。これらが直接に「みぎわ」の現状に影響することはありませんが、この総合支援法が今後の障がい者福祉行政全般の基盤となり、国からの補助金(給付費)はこの法律に基づき、具体的な額が算定され、給付されますので、今後の具体的な運用や検討状況については、シッカリ把握していかなければなりません。

2. 「みぎわ」のこれから

7月で開所19年目の「みぎわ」は今後、どのような歩みを続けることになるのでしょうか。理事会でも当面の運営課題に留まらず、3年～5年を見通した“中期計画”の必要性、取り組みが議論されています。

計画策定の基本は「ヒト・モノ・カネ」ですが、先ずモノに関しては、グループホームの建設に向けた取り組みとして、本年3月に牛重(ウシガサネ、「みぎわ」から徒歩20分)の土地1,221㎡(370坪)を購入しました。来年夏に補助金の申請を行い、2017年の4月の開所を目途に準備を開始していますが、消費税増税分はその多くが高齢者福祉に吸収されるため、グループホーム建設等への国の予算枠は削られており、申請通り補助金を得られるかどうか予断を許さない状況です。また、資金面では借入等の対応も必要となります。

ヒト・カネに関しては、「みぎわ」が現状を維持する限りでは、これまで同様の皆さまからのご支援も勘定に入れて、大枠では変更はありませんが、個々には、利用者、職員の移動、サービス内容の変更等に対処しなくてはなりません。今年度で雇用延長満了となるN職員については、配員上、交

代要員の確保が必要になること等を勘案して、更に1年の特別契約を結ぶ予定です。利用者についても、運用定員枠での配員維持が補助金減収の回避に繋がりますので、利用希望者についての情報把握に努め、「みぎわ」の理解者を欠員時にタイムリーに受け入れることが出来るよう考えています。また、給食サービスについては「みぎわ」が大切に考えて取り組んできたことですが、本年度で現行補助制度は終了します。来年度以降どうするか、6月の理事会で話し合い、補助金がなくても更に一年は継続するために、利用者負担額を増額することも含め、具体案を検討しています。

3. 「みぎわ」の将来

将来のことを見据えて考えますと、サービスの質を高め、安定した運営を志向することが基本となります。

最優先すべきは「一麦福祉会の理念、基本方針」(※2頁に再録)を念頭に全てに取り組むことです。これこそがサービスの質を高める大原則だと確信します。人との関わりにおいて、聖書は「隣人になる」よう説きます。職員はじめ、ご支援頂く皆様一人ひとりが障がい者の「隣人になる」ことを心に留めて下さい。具体的な目標としては、ハードルは高いのですが「利用者賃金の改善」があります。現体制下での可能性の追求に併せ、「賃金改善」を可能とする新たな態勢の検討を放棄してはならないと考えます。自立を志向する上で、賃金は最も基本となる事柄だからです。

安定した運営については、質を落とさない「効率化」が一つのポイントであることは論を待ちません。国では「組織統合・規模拡大」が検討されています。「みぎわ」はこのことに向き合い、取り組むのか、細かなことの積み上げも含め、英知を結集していかなければならないと気を引き締めております。

おだにのりあき(理事長)

◎一麦福祉会の原点を再度確認するために、ネットを参照頂けない方用に、理念」と「基本方針」を再録致します。

一麦福祉会の理念

日本の社会は、第二次世界大戦後の貧しさのなかから目覚ましい発展を遂げました。しかし、物質的豊かさを追い求め、それが現実となった時に、一人ひとりの人間としての価値は忘れられ、現代の社会の物質的発展にとって有用であるかどうか、価値観の唯一の基礎になりました。

物質的繁栄を遂げた今の時代は、貧しかった時代よりも一見豊かになり、“福祉”と呼ばれることにも国の予算が使われ、多くの人が関心を寄せ、福祉施設もかなり増えてきて、障害を持っている人もその恩恵を受けることが多くなりました。けれども、国の財政が逼迫してくるとまず削られるものの一つに福祉予算があることにも表れているように、“社会福祉”は、まだ多くの人の真の願いとなるまでに至っていません。

聖書は、人間一人ひとりの存在の背後には、より大いなるものの愛に根差した支えがあることを記しています。それ故、人間としての価値は、個人の能力には関係なく等しく、一人ひとりの人は、お互いに等しいものとして関係を結び、愛し合って生きていくことが求められています。

そこで私たちは、「一粒の麦は、地に落ちて死ななければいつまでも一粒のままである。しかし、死ねば多くの実を結ぶ。自分の命を愛するものは、それを失うが、この世で自分の命を顧みない人は、それを保って永遠の命に至る。」と、聖書が述べているところに示されている精神に基づいて「一麦福祉会」を作りました。

「一麦福祉会」は、障害を持っている人たちが、その障害のために差別されることなく社会に参加し、平等な権利を持ち、共に義務を果たしていくことのできる社会の実現を目指して取り組んでいきます。障害を持っている人たちの締め出した社会よりは、障害を持っている人たちを正常な構成員の一人としている社会のほうが、人間が人間らしく生きていくことのできる社会なのではないでしょうか。障害を持っている人に何かをしてあげるというのではなく、相互に学び合い、お互いの欠けを補いあって生きていく社会を築きたいと思います。

「一麦福祉会」は、このような取り組みの第一歩として、知恵おくれの人たちが、それぞれに与えられた能力を最もよく発揮し、それぞれの人間性を深め、生の内容を豊かにすることのできる生きた場をつくらうとしています。そして、そのような場を社会から遊離したところに作るのではなく、地域社会の中に溶け込んで作りたいと願っています。

(1985年10月制定、2003年3月一部字句訂正)

社会福祉法人一麦福祉会基本方針

(2002年10月25日改定)

(1) 知的障害を持つために、一般社会で働くことの困難な人に仕事場と仕事を提供し、一人ひとりが社会のかけがえのない一員として愛されていることを知るとともに、作業を通して働くなかで、お互いに愛し合うことのできる生きた生活の場を作ります。

(2) 単に働く場を作り、そのなかで仕事をするというのではなく、一人ひとりの能力にあった作業、体に適した仕事を見つけ、共に働くことの喜びを知ることができるよう努力します。

(3) 農作業に取り組み、自然をよく見つめ、四季を体感しながら、実りの喜びを味わうことのできる場を作ります。

(4) 作業を通じて社会に参加していることの自覚を持ち、受注・販売に関する契約の意味を知り、責任と喜びを持って生産活動が行えるようにします。

(5) 団体生活を通して、お互いを思いあい、共通の目的に対して協力し合う必要を理解し、社会生活に必要な責任と義務を身につけ、社会参加を目指します。

(6) 施設という枠を作り、その枠に合う人を作るのではなく、一人ひとりが自分の能力を発見し、それを伸ばし、充実した生を送ることができるようになります。

(7) 障害の有無にとらわれない施設を作り、これを社会から遊離した閉鎖的な場とするのではなく、共に働くことの喜びを知る一人ひとりとして地域社会に参加し、自らよき隣人であることを求めて生きるようにします。

そして、障害を持たないものでも、高度化された社会の現実に対して遅れを覚えるような現代社会の中で、それを苦にするのではなく、共有することによって、共に歩んでいけるような 真実ある生きた場を求めていきます。

2013年度一麦福祉社会・一麦運営協力会会計収支報告

社会福祉法人一麦福祉社会資金収支計算書(2013年4月1日～2014年3月31日)

勘 定 科 目		合 計	本 部	就労支援事業
事業 活動	就労支援事業収入	4,407,626	0	4,407,626
	障害福祉サービス等事業収入	43,186,140	0	43,186,140
	借入金利息補助金収入	141,750	0	141,750
	経常経費寄付金収入	5,467,000	550,000	4,917,000
	受取利息配当金収入	103,129	9,927	93,202
	その他の収入	505,195	0	505,195
	人件費支出	40,497,578	0	40,497,578
	事業費支出	4,119,619	0	4,119,619
	事務費支出	4,555,688	644,555	3,911,133
	就労支援事業支出	4,437,176	0	4,437,176
	支払利息支出	189,000	0	189,000
	事業活動資金収支差額 (1)	11,779	△84,628	96,407
施設 整備	固定資産売却収入	0	0	0
	設備資金借入金元金償還金支出	2,000,000	0	2,000,000
	固定資産取得支出	15,230,846	15,230,846	0
	施設整備等資金収支差額 (2)	△17,230,846	△15,230,846	△2,000,000
その 他	投資有価証券売却収入	0	0	0
	積立資産取崩収入	20,150,016	20,006,016	144,000
	預金資産支出	1,000	0	1,000
	その他の活動資金収支差額 (3)	20,149,016	20,006,016	143,000
当期資金収支差額合計 (1)+(2)+(3)		2,929,949	4,690,542	△1,760,593

社会福祉法人一麦福祉社会貸借対照表(2014年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	残 高	科 目	残 高
流動資産	31,344,680	流動負債	3,042,612
現金預金	20,270,484	事業未払金	509,745
事業未収金	7,038,093	その他の未払金	148,115
未払金	148,115	一年以内返済予定設備資金借入金	2,000,000
商品・製品	3,108,200	預り金	101,460
原材料	509,445	職員預り金	283,292
その他流動資産	270,343		
固定資産	137,022,485	固定負債	5,690,720
基本財産	103,606,441	設備資金借入金	2,000,000
基本財産土地	41,732,031	退職給付費引当金	3,690,720
基本財産建物	60,874,410	負債の部合計	8,733,332
基本財産特定預金	1,000,000	純 資 産 の 部	
その他固定資産	33,416,044	基本金	72,905,919
土 地	14,500,000	国庫補助金等特別積立金	40,268,910
機械及び装置	44,814	その他の積立金	11,301,999
車両運搬具	665,613	移行時特別積立金	4,700,000
器具及び備品	212,052	運転資金積立金	6,401,999
建設仮勘定	730,846	工賃変動積立金	200,000
ソフトウェア	315,000		
投資有価証券	1,955,000	次期繰越活動収支差額	35,157,005
退職給付引当資産	3,690,720	(うち当期活動収支差額)	△1,356,729
移行時特別積立資産	4,700,000	純資産の部合計	159,633,833
運転資金積立資産	6,401,999	負債及び純資産の部合計	168,367,165
工賃変動積立資産	200,000		
資産の部合計	168,367,165		

一麦運営協力会会計収支 (2013年1月1日～2013年12月31日)

一麦基金繰入	764,230	会費または寄付金	6,848,670
施設援助金	6,142,000	利子	102
事務費支出	16,720	雑収入	192,332
事業費支出	118,154	収入合計	7,041,104
支出合計	7,041,104	収支残高	0

みんなで持ちよれば、ささやかな希望もあふれる希望。小さな夢も無限の夢。



2013年7月1日～2014年6月30日までに、運営協力会費または寄付金、物品をお寄せくださった方々、ボランティアで労力の奉仕をしてくださった方々のお名前です。ご支援、ご協力をありがとうございました。

青田 隆子 様
青山 充英 様
あけぼの園 様
浅野 のぶ子 様
アジア学院 様
荒井 玄悟・初音 様
荒井 朋子 様
新井 由美子 様
飯島 亘子 様
飯塚 卓雄 様
井草 和子 様
石毛 綾子 様
市瀬 友理 様
井手 幸男 様
伊藤 眞美 様
井村 真澄 様
岩川 靖子 様
内田 栄司 様
宇都木 伸 様
宇都 月江 様
梅田 誠 様
税理士法人
英智幸手事務所
長谷川 良則 様
衛藤 進吉 様
遠藤 寿代 様
大浦 勝 様
岡部 弘子 様
小倉 信夫 様
尾谷 則昭 様
尾谷 アイ子 様
小野寺 ほさな 様
カーちゃん食堂 様
柿沼食販 様
風間 潤一郎・咲美 様
加須地区
更生保護女性会 様
金杉 保枝 様
金丸 琢美・淑子 様
金子 武・照子 様
金子 良子 様
鎌田 誠一・幸子 様
川股 忠・京子 様
菊池 千代子 様
久保島和市・禎子 様
黒坂 恵美子 様
㈱こぐま社 様
小林 隆雄 様
小林 恒雄 様
小林 泰彦・千寿恵 様

小堀 朋子 様
金野 柳一 様
斉藤 潤 様
笹原 捷夫 様
幸手桜高等学校 様
佐藤 幸一 様
佐藤 澄江 様
佐藤 大輔 様
佐藤 英和・志奈子 様
佐藤 ヨシ江 様
佐藤 淑子 様
沢崎 玲子 様
サンライズクリニック
盛川 宏 様
しずくの会
石井 喜久子 様
しのはら歯科医院
篠原 真 様
清水 佐知子 様
白井 絢子 様
須加 茂夫 様
鈴木 順子 様
鈴木 俊昭・由紀子 様
鈴木 寶三 様
須藤 繁・道子 様
スナックやまね 様
誠和福祉高等学校 様
田上 聡・正子 様
館岡 正男 様
田中 英子 様
田ノ下 千鶴子 様
田部 郁彦 様
茅根 愛二 様
角田金物店 様
土屋 文子 様
つぼみ幼稚園 様
寺本 道郎・光世 様
㈱デザインコンビビア 様
東京歯科クリニック
大久保道子 様
CCJ小山教会
日曜学校 様
CCJ 恵泉伝道所
日曜学校 様
CCJ 古河伝道所 様
CCJ 鶴見教会 様
CCJ 鶴見教会婦人会 様
CCJ 東京告白教会
教会学校 様
CCJ 東京主僕教会
日曜学校 様
CCJ 栃木教会
つむぎの会 様

CCJ南浦和教会 様
トミー精工 様
留岡 薫 様
トライアングル 様
直井 和子 様
中家 盾・由布 様
中里 威 様
中澤 寿雄 様
中村 淑江 様
中村 美知子 様
長岡 新吉 様
ナスハウス工業 様
錦織 様
西田 敏雄 様
西橋 直行 様
丹羽 聖業 様
丹羽 証 様
丹羽 牧人 様
根岸 和也 様
長谷川園芸 様
長谷川 恵子 様
長谷川 拓也 様
長谷川 雅之 様
畑沢 芳子 様
フェリス女学院同窓会
東京支部 様
深澤 政子 様
深谷 百合子 様
藤倉 沖子 様
藤森 良雄・恵美子 様
平和自動車工業 様
細井 陽子 様
帆足 嘉代子 様
本田クリニック
本田 和正 様
増田 茂次 様
まつだこどもクリニック
松田 幸久 様
松元 宏康・恵美 様
水書 マサ子 様
水谷 重男・啓子 様
水深小学校 様
靱井 道誉・佐由美 様
森 静江 様
森 直 様
森田 しのぶ 様
八百茂商店 様
安 みぎわ 様
梁島 ケイ子 様
山崎 雅代 様

山田 智子 様
山野 裕子 様
吉村 佳昌子 様
ワークスみぎわ
保護者会 様
渡邊 榮子 様
渡邊 全一・茂子 様
※CCJ=日本キリスト教会